「ふれる美術展 in 盲学校」を開催しました

本校では、10 月 21 日から 30 日まで、「ふれる美術展 in 福井県立盲学校」を開催しました。県内で活躍されている 8 名の作家の皆様のご協力のもと、彫刻や金工作品など 10 作品を展示し、視覚障がいの有無にかかわらず、多くの皆様に芸術を身近に感じていただく機会となりました。

本展の特徴は、「見る」だけでなく「ふれる」ことで作品を鑑賞できることです。作品の形や質感、重みなどを手で感じながら、一人ひとりが自由に作品と向き合い、感じたことを言葉で共有する姿が見られました。

期間中に実施した鑑賞ツアーには 57 名の皆様にご参加いただきました。また、藤丸伸和教育長にもご来校いただき、作品をご鑑賞いただくとともに、本校の教育活動について理解を深めていただく機会となりました。

さらに、10 月 24 日に開催した彫刻家 冨長敦也 氏による石磨きワークショップには 21 名が参加し、石に触れ、その感触や変化を楽しみながら、創作活動に親しみました。

ご来場いただいた皆様からは、「触れることで作品をより身近に感じることができた」「見えない人と見える人が同じ作品を共有できる貴重な機会だった」などの感想をいただきました。本展を通して、芸術の魅力だけでなく、多様な感じ方や学び方への理解を深める機会にもなったと感じています。

開催にあたりご協力いただきました作家の皆様、ご来場いただいた皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も本校では、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、共生社会の実現につながる取組を積極的に発信してまいります。　（盲学校長）








